

児童相談所関連研修 児童心理司（基礎）Ⅰ

【実施日】	令和7年9月29日（月）・30日（火）
【受講決定者数】	45名
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は心理職だけの研修ということで専門的な知識を学ぶことができたことが非常に良かったと感じております。また、他の区の方もいることでどのように工夫して日々、業務に取り組んでいるかなどもお聞き出来たことが収穫でした。心理職として、業務に悩んでいたことも解消された学びがあったため、非常に勉強になりました。ありがとうございました。 ・噛み砕いて説明していただき、非常に分かりやすく、学びたい内容が全て詰まっていたという間に研修時間が過ぎていってしまいもっと講義を受けたいと思うほどだった。児相心理として働き始めて半年、分からないことだらけで半信半疑のまま業務にあたってきたが、心理職として常識が通用しない世界に足を踏み込んでいること、そのため介入型相談が必要とされていることという内容に触れてこれまでの違和感が薄れたように感じられた。限られた回数、時間の中で何をどう聞くかが大事であることを学ぶことができ、且つ信頼関係を築く、とても高度ですが早く掴むためにこれからの業務に生かしたい。 ・ちょうど研修後に児童票を作成する機会があり、早速要旨のまとめ方について講義いただいたことを踏まえながら作成しました。人の見えない部分を扱う職域だからこそ相手に合わせて説明できるようにしなければならないというのはもちろん理解していたところでしたが、先生の講義を聞いて、これまで人に理解しやすく説明できるようにするために相当な努力をなさってきたのだと、内容以外にもパワポや講義全体の工夫も含めて感じ、私も今後教えていただいたものを吸収して努力し続けたいと思いました。ありがとうございました。 ・解決志向アプローチについて、ワークでの練習を通じて理解することができたように思います。教えていただいたことを使いこなしていくには修練が必要と思いますが、相手と関わる際に無意識的に問題志向的になりがちなところがあったので、意識的に取り入れていきたいと思いました。また、技法という点だけではなく、相手の認知、枠組み、相手がこれまでやってきた人生を理解しリスペクトしようとする根本的な心理士としての姿勢を忘れないようにしたいと思いました。ありがとうございました。